

# オーディオインターフェース AD216 Audio Interface AD216

大山 宏

Hiroshi Ohyama

日東紡音響エンジニアリング株式会社

Nittobo Acoustic Engineering Co.,Ltd.

AD216 は音響、騒音、振動、音声などのオーディオ信号をコンピュータで収録、分析、加工、再生を行うためのオーディオインターフェースです。

高性能 2 チャンネル A/D、D/A コンバータとデジタルオーディオインターフェースをひとつの筐体にまとめ、さらにマイクロホン入力およびスピーカ出力も装備しています。ホストコンピュータとは SCSI で接続し、付属のオーディオデータ入出力ソフトウェアをインストールしてすぐに使えるフロントエンドです。

### ■多彩な入出力機能を 1 台に凝縮

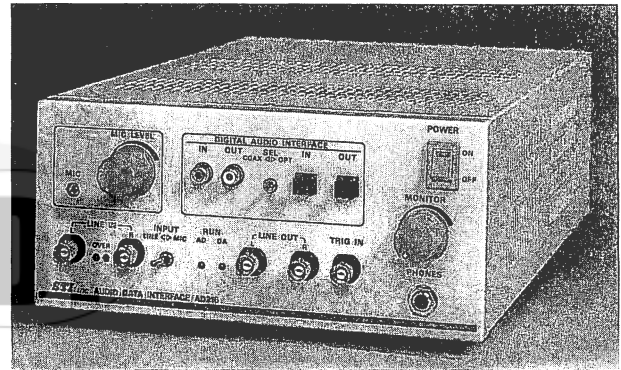
- アナログオーディオ信号の入出力用に 64 倍オーバーサンプリング、 $\Sigma\Delta$ 方式 2 チャンネル A/D、D/A コンバータを搭載。1k~48kHz の範囲のサンプリング周波数に対応。デジタルオーディオ機器と同等のクオリティを提供します。
- デジタルオーディオ信号のインターフェースとして光及び同軸入出力端子を装備。48kHz、44.1kHz、32kHz のサンプリング周波数に対応し、DAT、CD 等のデジタルオーディオ機器との接続をサポートします。
- モニタスピーカ及びヘッドホン用パワーアンプを内蔵。コンピュータに AD216 を接続するだけでコンピュータのオーディオインターフェース環境が整います。

### ■各種コンピュータに接続可能

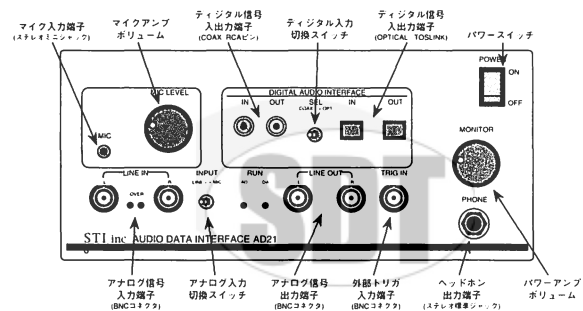
- ホストコンピュータとのインターフェースに SCSI を採用。パーソナルコンピュータやワークステーションなど様々なプラットフォームで同一のオーディオインターフェース環境を提供します。
- 内蔵のバッファメモリにより長時間のハードディスクレコーディングが可能です。

### ■トータルなシステムサポート

- オーディオデータ入出力ソフトウェアを付属。あわせて様々な分析、加工を行うためのオプションソフトウェアを用意。また、他の信号解析ソフトウェア等のインターフェースライブラリも提供します。



前面パネル



裏面パネル

